

平成27年度療育センターAOI 事業報告

療育センターAOIでは、「もなみ」生活介護・就労継続支援B型、「リアン」生活介護、「エトワール」児童発達支援・放課後等デイサービス、「療育センターAOI」一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援（海南市・紀美野町から委託）、相談体制整備事業（和歌山県から委託）の4つの事業所で8つの事業を実施、展開しています。

もなみ・リアン（生活介護・就労継続支援B型）

もなみ・リアンは、利用者さん保護者の方、一人一人の思いをしっかりと受け止めさせて頂くために、『情報を共有する（収集・発信・記録）』を目標とし、職員一丸となって常に最善の支援をするよう心掛け、皆さんが“もなみやリアンに行きたい”と思っただけけるような事業所を目指し取り組んでいます。

もなみ生活介護事業

平成27年度 定員15名 契約利用者21名（3月末時点） 平均利用者数16.1人
日々一人一人の体力に合わせて近隣をウォーキングするなどして健康と体力維持に努め、また花見やバーベキュー、プール（和歌山県子ども・女性・障害者相談センター）、クリスマス会、クッキング他など、季節感ある行事を取り入れるなど楽しんで頂ける活動やブラシ作業（一人当たり平均月額工賃 ¥1,201）を提供し、保護者や利用者の皆様に喜んで頂け、また利用者さんお一人お一人や保護者の思いを知るためにしっかりとコミュニケーションをとるように心がけました。

今年度、3月に新卒2名の方と契約し利用契約者数が21名となり、これ以上の利用者受け入れが難しい状況となっています。その様な状況でも“空きが出れば契約したい”というご希望があり、狭い空間ではあるのですが実習をなんとか受け入れさせて頂いている状況です。

そのため、何とか対応出来る様にと検討しています。

もなみ就労継続支援B型事業

平成27年度 定員10名 契約利用者14名（3月末現在） 平均利用者数7.8人
一般就労を目指す方の支援を療育センターAOI相談員に協力して頂きながら、2名の方に就労継続支援A型事業所さんの見学を実施し、昨年に引き続き平成28年12月に1名の方が就労継続支援A型事業所へ雇用となり、また自宅に引籠っていた方を受け入れ、継続して通所して頂けるようになったなど、一人ひとりの思いをしっかりと捉え、支援に反映することが出来ました。利用者数は一時的に減ったのですが、新卒の利用者さん2名を含め3名の方と新規利用契約を結び利用者さんは増えている状況です。

クッキー事業については、きのくに国体やきのくに和歌山大会への参加で新商品の開発や新規の委託販売先の開拓など進めました。また、利用者さんのニーズに合わせた作業内容を提供するために、クッキー事業以外に雑貨事業（ブラシ・スポンジ作業）を実施しているのですが、個人の特性に合った仕事内容を提供することで作業意欲を保てるなどの効果があります。

今年度末には特別臨時ボーナス（一人当たり1万円前後）を月工賃以外に支給するなど利用者さんの工賃アップに繋げることが出来ました。（月額平均工賃 一人当たり¥5,167）

リアン（重症心身障害者に特化した受け入れ）生活介護事業

平成27年度 定員6名 契約利用者9名（3月末現在） 平均利用者数4.7人
年間の行事には、季節に合わせてお花見やプール、秋には保護者の方とともに遠足、12月はクリスマス会など企画していますが、その他、外食や買い物、クッキングや制作活動、また「もなみ」と合同で焼き芋大会を実施、日々の活動では重症心身障害の利用者の方々に楽しく心地よい刺激ある時間を過ごして頂くことが出来ました。また、毎月2回理学療法士の訓練や月1回和歌山病院の巡回相談（レクリエーション活動）などを実施していて保護者の方にも大変喜んで頂いています。

以前より保護者から強く要望があった送迎サービスですが、リアンの利用者さんは皆さん車椅子を使用していたり医療ケアが必要な重度の障害を持たれている方であることから今まで実施して頂くことが出来なかったのですが、今回福祉車両を1台導入できたことで、少人数からですが徐々に始めています。また外出など活動にも生かしていけると期待しています。

エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

平成27年度の登録者は13名で、通常3～5名の利用者があり支援学校へ迎えに行き放課後対応をしてきました。春・夏・冬の長期休暇には8～10名程度の利用者があり地域で暮らす障害児の活動場所として展開してきました。今年度で卒業する方や自宅から近い事業所になる予定の方もありますが、28年度4月から新たに利用していただける予定の方もあります。

療育センターAOI（一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援）

平成27年度は相談支援専門員を3名体制で事業を進めてきました。
相談支援事業として、地域の障害児・者（家族）の相談を受けていく中（本人や家族の悩み、福祉サービス事業所の調整、通院の同行や申請の代行など様々な生活のことについて対応している）海南海草圏域の自立支援協議会の運営（すべてにおける会議や研修などの企画運営など）や特定相談支援事業所の関わっている困難事例に対しても対応しています。相談件数においても多くなってきていて、サービス等利用計画についても300件以上受け持っており、現状では対応しきれなくなってきている中、今後の職員体制についても考えていかなければならない。

相談支援体制整備事業（アドバイザー）

和歌山市と海南海草圏域を担当エリアとして、自立支援協議会の運営、地域の困難事例について委託相談事業所とともに対応したりしてきました。また、和歌山県の自立支援協議会で各圏域の地域課題を検討してきました。